

小児外科

1 構 成 員

	平成 26 年 3 月 31 日現在	
教授	0 人	
病院教授	0 人	
准教授	0 人	
病院准教授	0 人	
講師（うち病院籍）	0 人	(0 人)
病院講師	0 人	
助教（うち病院籍）	0 人	(0 人)
診療助教	0 人	
特任教員（特任教授、特任准教授、特任助教を含む）	1 人	
医員	0 人	
研修医	0 人	
特任研究員	0 人	
大学院学生（うち他講座から）	0 人	(0 人)
研究生	0 人	
外国人客員研究員	0 人	
技術職員（教務職員を含む）	0 人	
その他（技術補佐員等）	0 人	
合計	1 人	

2 教員の異動状況

川原 央好 特任准教授（平成 25 年 4 月 1 日～現職）

3 研究業績

数字は小数 2 位まで。

	平成 25 年度	
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	3 編	(1 編)
そのインパクトファクターの合計	2.60	
(2) 論文形式のプロシーディングズ及びレター	0 編	
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(3) 総説数（うち邦文のもの）	1 編	(1 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(4) 著書数（うち邦文のもの）	6 編	(6 編)
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	0 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	

(1) 原著論文（当該教室所属の者に下線）

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 川原央好. 腹腔鏡下胃瘻造設術による上部消化管 Motility の変化の検討. Therapeutic Research

35:7-13, 2014

- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）
- C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの
1. Goda T, Kawahara H, Kubota A, Hirano K, Umeda S, Tani G, Ishii T, Tazuke Y, Yoneda A, Etani Y, Ida S. The most reliable early predictors of outcome in patients with biliary atresia after Kasai's operation. J Pediatr Surg 48: 2373-2377, 2013 [1.383]
 2. Umeda S, Kawahara H, Yoneda A, Tazuke Y, Tani G, Ishii T, Goda T, Hirano K, Ikeda K, Ida S, Nakayama M, Kubota A, Fukuzawa M. Impact of cow's milk allergy on enterocolitis associated with Hirschsprung's disease. Pediatr Surg Int. 29: 1159-1163, 2013 [1.216]
インパクトファクターの小計 [2.599]

(2-1) 論文形式のプロシーディングズ

(2-2) レター

(3) 総説

1. 窪田昭男、川原央好、米田光宏、田附裕子、谷学人、石井智宏、合田太郎、梅田聡、平野勝久. Hirschsprung 病, 小児科 54:401-405, 2013

(4) 著書

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの
1. 川原央好. 本邦における超・極低出生体重児の外科治療の現状, 窪田昭男, 低出生体重児の外科, 永井書店, 大阪, pp.1-6, 2013
 2. 川原央好. 食道 pH モニタリング. 福澤正洋, 小児外科診療ハンドブック. 医薬ジャーナル, 大阪, pp. 64-68, 2014
 3. 川原央好. 胃瘻造設術. 福澤正洋, 小児外科診療ハンドブック. 医薬ジャーナル, 大阪, pp. 117-122, 2014
 4. 川原央好. 先天性食道狭窄症. 福澤正洋, 小児外科診療ハンドブック. 医薬ジャーナル, 大阪, pp. 207-214, 2014
 5. 川原央好. 肥厚性幽門狭窄症. 福澤正洋, 小児外科診療ハンドブック. 医薬ジャーナル, 大阪, pp. 239-244, 2014
- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）
- C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの
1. 清水義之 川原央好, デバイスの選択, 手技, 土岐 彰, 増本 幸二, 小児の静脈栄養マニュアル, メジカルビュー社, 東京, pp.76-83, 2013

(5) 症例報告

4 特許等の出願状況

	平成 25 年度
特許取得数（出願中含む）	0 件

5 医学研究費取得状況

(万円未満四捨五入)

	平成 25 年度
(1) 文部科学省科学研究費	0 件 (0 万円)
(2) 厚生労働科学研究費	1 件 (45 万円)
(3) 他政府機関による研究助成	0 件 (0 万円)
(4) 財団助成金	0 件 (0 万円)
(5) 受託研究または共同研究	0 件 (0 万円)
(6) 奨学寄附金その他（民間より）	0 件 (0 万円)

(1) 文部科学省科学研究費

(2) 厚生労働科学研究費

「小児期からの消化器系希少難治性疾患群の包括的調査研究とシームレスなガイドライン作成」

平成 25 年度 分担者 45 万円 代表者 九州大学小児外科 田口智章 教授

(3) 他政府機関による研究助成

(4) 財団助成金

(5) 受託研究または共同研究

6 新学術研究などの大型プロジェクトの代表, 総括

7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0 件	0 件
(2) シンポジウム発表数	0 件	3 件
(3) 学会座長回数	0 件	3 件
(4) 学会開催回数	0 件	1 件
(5) 学会役員等回数	0 件	6 件
(6) 一般演題発表数	0 件	

(1) 国際学会等開催・参加

(2) 国内学会の開催・参加

1) 主催した学会名

第 44 回 日本小児消化管機能研究会 大阪大学中之島センター 平成 26 年 2 月 15 日

2) 学会における特別講演・招待講演

3) シンポジウム発表

1. Hirschsprung 病類縁疾患の診断基準と治療戦略 第 113 日本外科学会学術集会 パネルディスカッション 平成 25 年 4 月 12 日 福岡

2. 重度障がい児の胃食道逆流症にどう向き合っていくかを考える 第 16 回東京小児呼吸ケア

HOT シンポジウム 平成 24 年 2 月 22 日

3. 医薬品経腸栄養剤を用いた経管栄養下の重症心身障がい児における血中セレンとカルニチン値の検討、第 29 回日本静脈経腸栄養学会 ワークショップ 平成 26 年 2 月 27 日 横浜

4) 座長をした学会名

第 50 回日本小児外科学会学術集会 一般口演 イブニングセミナー

第 18 回日本小児外科漢方研究会

第 44 回日本小児消化管機能研究会

(3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

日本小児外科学会評議員

日本静脈経腸栄養学会学術評議員

日本小児消化管機能研究会幹事

日本小児外科代謝研究会幹事

日本小児外科漢方研究会会長（平成 26 年 10 月 31 日研究会開催予定）同研究会幹事

日本小児外科学会東海地方会幹事

日本静脈経腸栄養学会東海支部世話人

8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数（レフリー数は除く）	0 件	0 件

(1) 国内の英文雑誌等の編集

(2) 外国の学術雑誌の編集

(3) 国内外の英文雑誌のレフリー

日本小児外科学会雑誌 3 回

Pediatrics International 2 回

9 共同研究の実施状況

	平成 25 年度
(1) 国際共同研究	0 件
(2) 国内共同研究	1 件
(3) 学内共同研究	0 件

10 産学共同研究

	平成 25 年度
産学共同研究	0 件

11 受賞

- 12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要
- 13 この期間中の特筆すべき業績, 新技術の開発
- 14 研究の独創性, 国際性, 継続性, 応用性
- 15 新聞, 雑誌等による報道